

Global Education Research Seminar
グローバル教育研究セミナー
—美術教育による日米の学校間グローバル・ネットワークの構築—

2018.6.9 (土) 10:00—12:00

事前申し込み不要 (通訳有)

開催場所：広島大学 東千田未来創生センター 3-1 教室

趣旨

グローバル化が進展する今日において、文化的多様性の助長や平和の構築につながる美術教育を学校において実現していくことがこれまで以上に求められています。本セミナーでは、グローバル教育に実績のあるインディアナ大学東アジア研究所から副ディレクターのテレサ・カング教授を招いて、米国の最新事例を学び、広島県の公立学校での取り組みに関する検討を交えて、日米のグローバル・ネットワーク構築を目的とした教育実践に関する研究交流を行います。

講演タイトル

美術教室における異文化間学習に向けての協働

Working Together Toward Cross-Cultural Learning in the Art Classroom

プログラム

- 9:45～10:00 受付
- 10:00～10:05 趣旨説明
- 10:05～11:00 インディアナ大学東アジア研究所 ヘスン・カング教授による講演
「美術教室における異文化間学習に向けての協働」
- 11:00～11:10 休憩
- 11:10～11:40 広島市立春日野小学校 岡本卓憲教諭による実践研究の発表
「図画工作科題材『筆あとと研究所』でつなぐ、学校・地域の美術館・国際交流」
- 11:40～11:55 質疑応答
- 11:55～12:00 閉会の言葉

講師紹介



米国インディアナ大学ブルーミントン校東アジア研究所・副ディレクター及び全米東アジア教育連合ディレクター。米国イリノイ大学大学院教育学研究科博士課程修了。幼稚園から高等学校までを対象とした東アジアに関するカリキュラム開発、グローバル教員養成・教師教育などを主な研究テーマとしている。国際人材開発の研究実績により、Monica M. Lee Research Excellence Award を2011年に受賞。

ヘスン・カング教授
(Hye-Seung Kang)

■ 問い合わせ

広島大学大学院教育学研究科

初等カリキュラム開発講座 中村和世

E-mail: knakamur@hiroshima-u.ac.jp

本事業は、科学研究費助成・基盤研究(C)(研究課題「日米の小中学校・大学のパートナーシップによる美術教育の国際協働学習モデルの開発」(課題番号:16K04692))の助成を受けています。